

令和7年度第6回霞ヶ浦自然観察会実施結果

日 時：令和7年10月25日（土） 9時30分～13時

テーマ：秋の歩崎観音でキノコを観察しよう

場 所：歩崎観音周辺の森（かすみがうら市坂）

講 師：槽谷大河先生（慶應義塾大学経済学部生物学教室准教授）

内 容：秋の森はキノコの季節。キノコは樹木と共生して栄養分を交換し合ったり、枯れ木や葉っぱを分解したり、森の生態系で大切なはたらきをしています。霞ヶ浦湖岸には、あちこちにうっそうとしたシイやカシなどの常緑広葉樹林があります。歩崎観音やその周辺を散策して、森でキノコを探しながらキノコの多様性や生態を学習します。

参加者：14名

担当職員：6名

パートナー：5名

結 果：歩崎観音（かすみがうら市坂）周辺の森林においてキノコの観察会を実施しました。キノコの観察会は、霞ヶ浦環境科学センターの観察会としては初めての試みでした。講師は慶應義塾大学の槽谷大河先生です。先生は出身の筑波大学学生時代から茨城県各地のキノコ調査を手掛けられており、キノコ研究の第一人者です。霞ヶ浦湖岸周辺にはあちこちにうっそうとしたシイやカシなどの常緑広葉樹林があります。シイやカシは菌根をつくるキノコと共生し、特有のキノコが見られます。また、枝や葉、枯れた幹を腐らせるキノコも多くの種類があります。

観察会は、全員センターバスに乗車して移動し、現地での観察が終わったらセンターに戻り、採集したキノコを研修室で再びじっくり観察するという手順で行いました。この観察会での主な観察場所は、かすみがうら市森林公園と歩崎観音の森林、また、かすみがうら市水族館周辺の芝生でも観察を行いました。当日の天候は、朝まで降っていた雨が9時ごろには上がり、観察会実施中はほとんど雨の影響はなく実施できました。その日の午後はまた雨が

降り出したので、観察には恵まれた状況でした。

観察では、最初の観察地森林公園で、キノコの探し方、アルミホイルを使つての採集の仕方などを教えていただき、さっそく各自キノコ探しを始めました。森林公園では園路にハタケシメジがたくさん生えていて、食べられるおいしいキノコであることを教えていただきました。森林公園から歩崎観音を回り、最後に湖岸の芝生に移動しました。芝生ではシバフタケなど予想よりたくさんのキノコが観察でき、予定の観察時間をオーバーしてしまうほどでした。

センターに戻って、研修室で採集したキノコをテーブルに広げ、槽谷先生によるキノコの同定と特徴的なキノコの説明をいただきました。マイクロスコープでキノコを拡大し大型モニターに投影してみんなで解説を聞きました。すべてのキノコの解説をしていただくには時間が足りませんでしたが、それでも予定より 30 分オーバーして観察会は終了しました。参加者全員ほとんど聞いたことがない興味深い話を聞くことができ大変満足した観察会となりました。

観察できたキノコの種類は、森林のキノコが 37 種、芝生のキノコが 7 種、合計 44 種となりました。また、10/15 に実施した事前調査で 31 種を確認しており、合わせて 61 種のキノコを記録することができました。またキヒダカラカサタケの近縁種や、芝生に生えていたチャツムタケ属の仲間で、まだ学名が発表されていない新種と思われるキノコがありました。これらのキノコは槽谷先生によればサンプルを研究材料にするとのことでした。

槽谷先生、充実したキノコ観察会ありがとうございました。記録したキノコの一覧を下にします。

観察会で確認したキノコ

No.	種名	森林	芝生	下見
1	アカキツネガサ			○
2	アカチャツエタケ	○		
3	アカヤマタケ		○	
4	アラゲカワラタケ			○
5	アンズオチバタケ（仮称）	○		○
6	ウズラタケ			○
7	ウチワタケ	○		○
8	ウマノケタケ			○
9	オオシロカラカサタケ		○	
10	オキナタケ科の一種	○		
11	オシロイタケ	○		
12	オニフスベ			○
13	オロシタケ	○		○
14	カエンオチバタケ	○		
15	カワラタケ	○		
16	キイロウラベニガサ	○		
17	キコガサタケ		○	
18	キシワタケ			○
19	キチャハツ			○
20	キヒダカラカサタケの近縁種	○		
21	クシノハシワタケ			○
22	クヌギタケ	○		○
23	クリイロカラカサタケ	○		
24	コウヤクタケ属の一種			○
25	コガネカワラタケ			○
26	コシワツバタケ	○		
27	コノハシメジ	○		
28	コフキサルノコシカケ			○
29	コンイロイッポンシメジ	○		
30	サクラタケ	○		○
31	シツクイタケ	○		○
32	シバフタケ		○	○
33	シロソウメンタケ		○	
34	スギエダタケ	○		
35	セミノハリセンボン	○		
36	ダイダイガサ	○		○
37	チヂレタケ	○		○
38	チャカイガラタケ	○		
39	チャツムタケ属の一種		○	
40	ツブカラカサタケ		○	

No.	種名	森林	芝生	下見
41	ツヤウチワタケ	○		○
42	ツヤウチワタケモドキ	○		
43	ニセキンカクアカビヨウタケ	○		○
44	ヌナワタケ			○
45	ヌメリツバタケ	○		
46	ノウタケ	○		
47	ハイイロイタチタケ	○		
48	ハタケシメジ	○		
49	ハリガネオチバタケ	○		○
50	ヒビワレシロハツ	○		○
51	ヒメカバイロタケモドキ	○		
52	ヒメヒガサヒトヨタケ			○
53	ヒメムキタケ			○
54	フクロキクラゲ	○		
55	フクロツチガキ	○		
56	ミカワタケ	○		
57	ミダレアミタケ	○		○
58	モミジウロコタケ			○
59	ヤマジノカレバタケ			○
60	ユキラップタケ	○		
61	ワサビタケ			○
種数		37	7	31

令和7年度第6回霞ヶ浦自然観察会



キノコの探し方や採集の仕方の説明をいただく



森林公園での観察を開始



園路に発生していたハタケシメジ



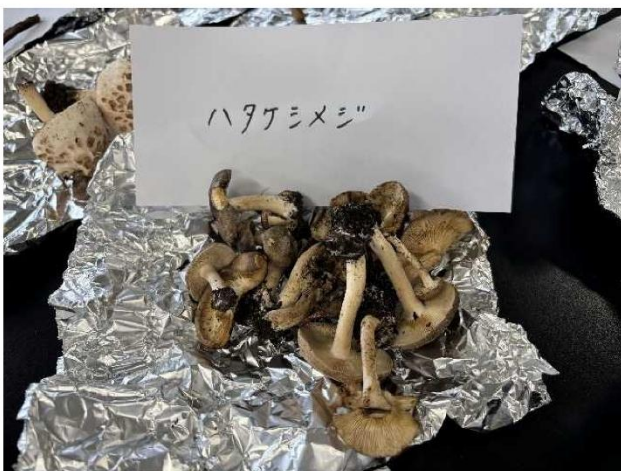
アルミホイルを使ってサンプルを採集



芝生でもいろいろなキノコを観察できた



センターに戻り、研修室でキノコの同定と解説



採集したキノコにラベルをつける



マイクروسコープでキノコを詳しく観察する

2025年10月25日
茨城県霞ヶ浦環境科学センター 自然観察会

秋の歩崎観音で きのこを観察しよう

慶應義塾大学経済学部
生物学教室 准教授
糟谷 大河
tkasuya@keio.jp

きのこ、かび、酵母=菌類 (地球上で150万種以上)



- 日本のきのこ：約4,000~5,000種
- 茨城県のきのこ：1,000種以上

霞ヶ浦周辺の照葉樹林



照葉樹（常緑広葉樹）＝葉っぱが厚く、つやがあり、冬でも落葉しない（紅葉しない）。暖かい地方に多い。

- 温暖な気候の霞ヶ浦周辺や鹿島灘沿岸では、シイやカシ類、タブノキなど、常緑広葉樹（照葉樹）が生育。
- 霞ヶ浦周辺のほぼ全域にわたって、冬でも緑が濃い照葉樹林が分布。
- 照葉樹林：ヒマラヤ山脈南麓から日本列島に至る。

代表的な照葉樹：スダジイ

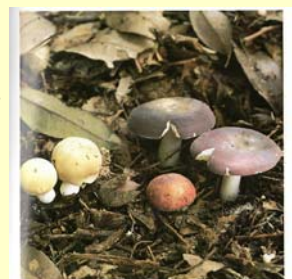


代表的な照葉樹： タブノキ



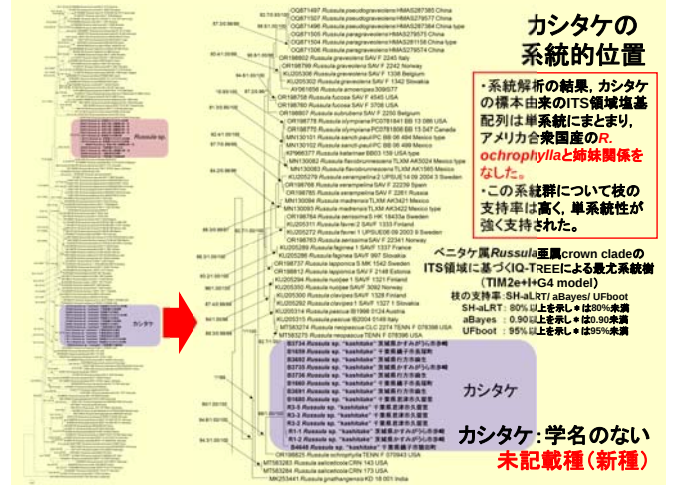
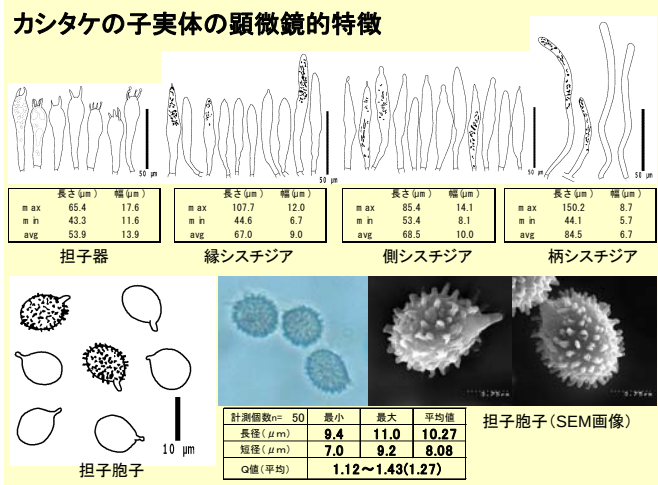
霞ヶ浦周辺の食用きのこ、カシタケ

- 福島県南部、茨城県、千葉県沿岸部のスダジイ林を中心に春（3～5月）に発生。
- 茨城県の鹿行地域・霞ヶ浦周辺や、千葉県の東総地域などでは、古くから食用きのことして親しまれてきた。
- 「カシタケ」という名前も、これらの地域の地方名に基づく。
- カシタケ食文化は継承されず現在では衰退、消滅の危機。



カシタケ（ベニカサタケ）
シイ・カシ類林上に群がって発生。冬にシイ・カシの木の根元に生じる。菌糸は白色で、菌蓋は赤褐色で、菌柄は白色。食用。直径3～5cm。傘は白色。くきは白色。葉は濃い緑色。葉は厚く、つやがあり、冬でも落葉しない。暖かい地方に多い。

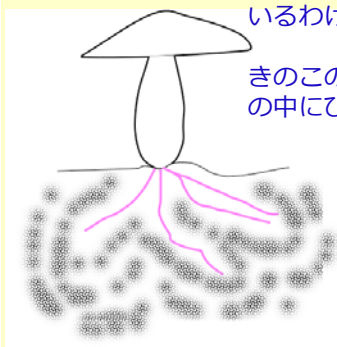
茨城のきのこ（茨城新聞社、1984年）より



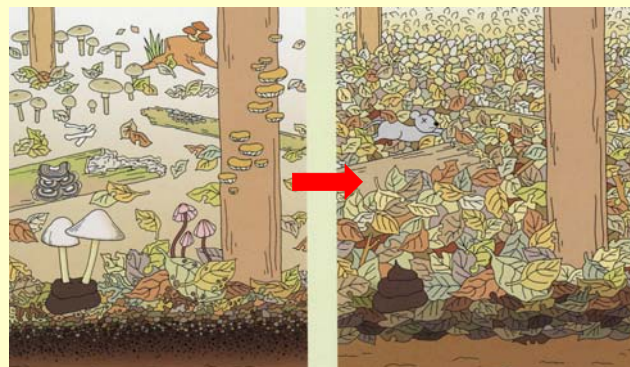
きのこは菌糸でできたカビの花

きのこは「きのこ」だけで生きているわけではない

きのこの本体は、地面の中、材木の中にひろがっている菌糸の塊



腐生：もしきのこがいなかったら



（原図：ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

腐朽：木材などが腐り、朽ちること



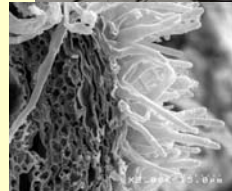
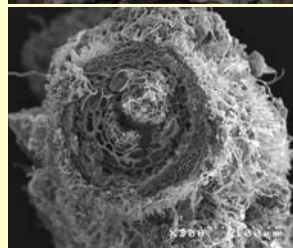
コフキサルノコシカケ

コフキサルノコシカケが生え、腐朽が進んだ木材



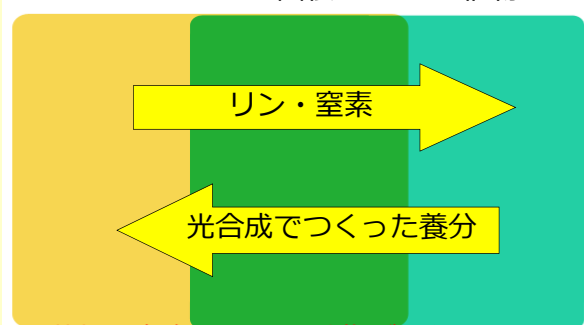
← きのこが生えて木の腐朽が進むと、木の内部が空洞になることがある。

共生：ベニタケ属のきのこの菌根



菌根の意義

きのこ 菌根 植物



菌根の存在によって植物が元気になる！

寄生という暮らし方



ベッコウタケ（左）とマメザヤタケ（右）が生えたニセアカシアの幹

昆虫に寄生するきのこ



Cordyceps militaris

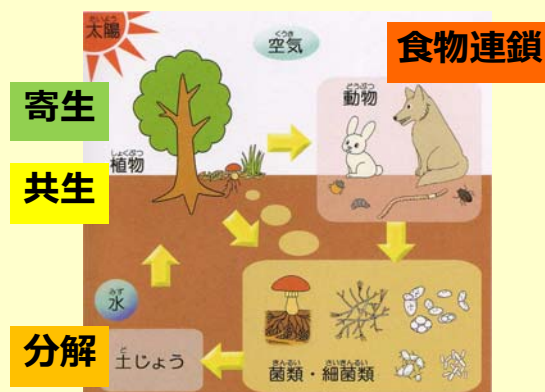


Ophiocordyceps heteropoda



Purpureocillium takamizusanense

菌類なしでは生きられない



きのこ探しの基本姿勢：
しゃがんだり，地面を
はったりして探します



そうすること
で，小さなきのこにも，出
会うことができます

クロサイワイタケ属の一種

きのこ採集には・・・



カゴと



根掘り

が必需品です！！



スコップを使ってもよいです
根元からとりましょう



つぼ
(根元が袋状)

同じ種類がたくさん見つかったら，
並べてみましょう

ツルタケ

成長の様子がわかります





野外での観察のポイント

- **どこに**生えていたか（周囲の植生）
- **何から**生えていたか（地面，落葉の周囲，枯れ枝の上，枯木の上，など）
- **かさの様子**（粘りがある，乾いている，触感，模様，ふちどりの感じ，など）
- **柄の様子**（つぼがあるか，根元につぼがあるか，根元が膨らむか，など）
- **ひだの様子**（柄にどうつくか，色，枚数，乳液の有無，変色性の有無，など）
- **管孔の様子**（色，大きさ，変色性の有無，など）

丸いきのこは，二つに割ってみよう
中身はどうなっているかな

